

「今年の企画から」

(財) 林原美術館 館長 熊倉 功夫

新しい年度の計画を立てる時に、何か今年は新しい試みをと 思います。昨年は新たに紀要を 発行し、池田家資料の展示も、大

名別に展開することとして、第一回目として、二代池田綱政に スポットをあてました。今年度 はその試みを続けることの他に、 ワークショップをさらに充実させたいと考えています。

池田家歴代をとりあげる企画としては、第二回目ですから本來ならば三代池田綱政をとりあげるべきですが、二代とばして五代池田治政の生涯と文化を展示了いたします。池田治政は明和元年(一七六四)に代を継ぎ、寛政六年(一七九四)に斉政へ代を譲り隠居するまでの間、岡山の文化に大きな影響を与えました。

治政の遺品を見ますと、自作の豪快な竹花入など茶道具があります。なかなかの茶人であつたようです。ちょうど都市文化が栄えた田沼時代から寛政改革

へと、幕政が大きく変化する時代に当り、いかに地方の文化が展開したか興味深いものがあり

ます。

今年の特別展としては公家社会のトップとして千年以上の歴史を誇る近衛家の名宝を展示します。近衛家では昭和十三年(一九三八)に当時の近衛家当主文磨公によって設立された陽明文庫に全ての宝物を一括収蔵することになり、世界最古の自筆日記『御堂閑白記』をはじめ、国宝・

陶器づくり、版画を作るなど、専門の講師をお招きして楽しんでもらいたく予定です。また例年通り、秋の月見会、竹明庵茶会も開きます。友の会の旅行は、京都の茶室を小生がご案内する予定です。どうぞお誘いあわせご参加下さるようお願い致します。



一重切花入 池田治政作

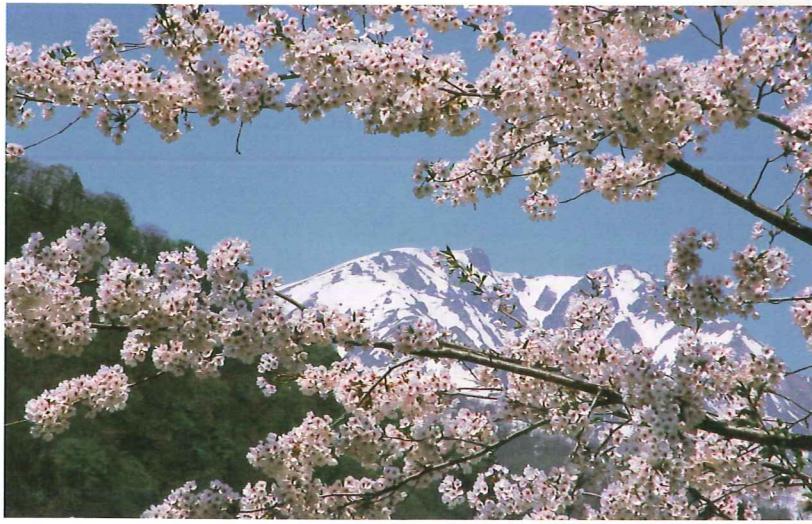
特別展

「地球家族バンザイ」

橋本龍太郎刀剣コレクションとフォトメッセージ

4月6日(日)～5月25日(日)

平成19年に、故橋本龍太郎元総理のご遺族から、氏が所蔵していた刀剣類のコレクションを当館に御寄贈いただきました。これを記念し、愛蔵の刀剣コレクションと橋本元総理が趣味で撮影していた写真を展示し、故橋本元総理の人柄を偲びたいと思います。



企画展

◆企画展「備前」

6月1日(日)～7月27日(日)

あらゆる加飾を排しただけのやきしめて成形する備前焼。その素朴な姿は侘茶の成立により「ひえかれた美」として認められるところとなりました。館蔵品の中から室町時代から江戸時代にわたる備前焼を紹介します。



◆企画展 「みずくさの美—禁中の書・武家の書—」

8月3日(日)～9月7日(日)

書は筆跡や墨の色彩などの見所に加え、書いた作者の個性が色濃く反映されます。天皇の宸翰、公家の書、そして武家の書など主に近世の書を中心に展示し、それぞれの持つ美しさをご覧いただきます。



宸翰 懐紙 正親町天皇

◆企画展「池田治政」

12月7日(日)～1月25日(日)

江戸時代後期に活躍した岡山藩主池田治政は、豪胆な性格で知られる一方、閑谷学校を再興し、多くの絵画や書跡を残した文人としても評価されています。当館所蔵資料から治政の事績を振り返り、その素顔に迫ります。



◆企画展 「大名装束—威儀を正し、美をまとう—」

平成21年2月1日(日)～3月22日(日)

備前池田家には歴代の藩主や婦人達が身に纏った大名装束が伝来していますが、これまであまり知られていません。本展覧会では藩主が儀式の時に着用した衣冠束帯をはじめ、婦人達の日常衣などを一堂に会して初めてご紹介し、大名の装いを概観します。



四菱に泊蝶紋散唐織表袴

◆企画展 「源氏物語の世界」

9月14日(日)～10月19日(日)

日本が誇る『源氏物語』が紫式部によって記されてから、今年でちょうど千年を迎えます。日本の文化に多大な影響を与えた『源氏物語』を、近世に制作された絵画・書跡を中心に、館蔵品からふりかえります。



源氏物語図屏風 (右隻)

◆企画展 「大名装束—威儀を正し、美をまとう—」

平成21年2月1日(日)～3月22日(日)

治政公乃宗政嫡男
左近衛權少將源朝臣
頤國院殿羽林從四位



備前池田家には歴代の藩主や婦人達が身に纏った大名装束が伝来していますが、これまであまり知られていません。本展覧会では藩主が儀式の時に着用した衣冠束帯をはじめ、婦人達の日常衣などを一堂に会して初めてご紹介し、大名の装いを概観します。

特別展

「近衛家の名宝」

10月25日(土)～11月30日(日)

摂政関白に任じられる家は五家あります。これを五摂家といい、その筆頭の家が近衛家で、いわば公家の頂点に立つ家です。

近衛家の本姓は藤原氏で、飛鳥時代の藤原鎌足にはじまり、平安時代の中ごろには藤原時代ともいわれる全盛期を迎えます。一説に源氏物語の光源氏のモデルともいわれる藤原道長(九六六～一〇二七)は娘たちを歴代の天皇に入内させ、権勢を謳歌しました。当時、道長が「この世をば我が世とぞ思ふ望月の欠けたることもなしと思へば」と歌によんだことは有名で、円満無欠の満月に己の権勢をなぞらえています。

藤原道長は長大な日記『御堂関白記』(国宝)

を残しています。これは自筆の日記で今日残されている世界最古の日記といつてよいでしょう。その日記は陽明文庫第一の重宝で、今回もその一部が展示される予定です。

道長以後も近衛家には著名な当主が少なくありません。中でも江戸時代中期の近衛家熙は茶の湯の歴史に欠くことのできない茶人でもあります。書画にすぐれ、「花木真写」などすばらしい絵画を遺しています。



砧青磁鳳凰耳花生 銘千声(重要文化財)

イベント

展覧会だけではなく、イベントを通じて、美術・工芸品や歴史、文化にふれていただく機会をご提供し、「日本の伝統美術」に親しんでいただければと思っております。今年は、例年好評をいただいております行事を中心、更に充実した内容でお楽しみいただきます。尚、受付日等、詳細につきましては当美術館までお問合せください。

飾り結びに挑戦し、日本文化の奥の深さと美しさを感じて頂きます。

お花見・お月見・お茶会のご案内

林原美術館内で開催するイベントです。当美術館ならではの雰囲気と各種の催しをお楽しみください。

◆お花見会「お花見野点と館長熊倉功夫を囲む会」

特別展「地球家族バンザイ 橋本龍太郎刀剣コレクション」とフォトメッセージのオープニングに引き続き野点の茶会を行い、さくらの花を愛でて頂きます。

日 時 4月5日(土)

定 員 60名(要予約)
参加費 友の会会員 4,200円 一般 4,700円

◆秋のお月見と音楽鑑賞「中国音楽の夕べ」

お月見に因んだ中国音楽の演奏と、熊倉館長によるトークをお楽しみ頂きます。今回で3回目となる展示室での演奏会ですが、心豈かなひと時を過ごせると好評を頂いております。

日 時 9月16日(火)

定 員 80名(要予約)
参加費 友の会会員 3,000円 一般 3,500円

◆秋のお茶会「林原美術館竹明庵茶会」

庭園に佇む「竹明庵」におきまして、熊倉館長が亭主を数田宗枝先生がお水屋を勤め、2日間に渡ってお茶を楽しんで頂きます。

日 時 11月15日(土)～16日(日)
定 員 120名(要予約)
参加費 友の会会員 1,500円 一般 1,800円

ワークショップ

◆飾り結び教室

来年の干支である「丑」を題材に親子で作るゴム版教室を開催します。作品が出来上がった人には、終了証書をお出しします。

◆陶芸教室「陶芸教室」

昨年は小学生とお母さん対象の教室でしたが、今年は大人対象の陶芸教室を是非、との声にお応えし、開催します。

日 時 7月19日(土)

講 師 陶芸家藤原敬介氏
場 所 林原美術館ロビー

定 員 20人(要予約)
参加費 4,000円

◆ゴム版教室 「親子で年賀状を作ろう」

来年の干支である「丑」を題材に親子で作るゴム版教室を開催します。作品が出来上がった人には、終了証書をお出しします。

日 時 10月19日(日)
講 師 彫刻家田主誠氏
場 所 林原美術館ロビー

定 員 一組(2人)15組(要予約)
参加費 4,000円

特別講演会

〈夏の講演会〉

日 時	7月5日(土)	13時30分～15時
演 題	「備前焼について」(仮題)	
講 師	上西節夫氏(倉敷市立美術館館長)	
会 場	岡山県立図書館 2階サークル活動室1・2	
参 加 費	友の会会員 1,000円	
定 員	90名(要予約)	
	一 般 1,200円	

〈秋の講演会〉

日 時	11月1日(土)	13時30分～15時
演 題	「近衛家の名宝」(仮題)	
講 師	名和修氏(陽明文庫文庫長)	
会 場	岡山県立図書館(予定)	
参 加 費	友の会会員 1,000円	
定 員	100名(要予約)	
	一 般 1,200円	

美術館講座

〈紀要発表会〉

今回は京都を訪れます。今年は源氏物語が世に出て千年を迎える京都、その歴史の中で築庭された名園と茶室を熊倉館長と巡ります。お昼は京料理を堪能し、日本の歴史と伝統美術にふれる旅をお楽しみ頂きます。

美術館周遊の旅

「京都茶室巡り」

日 時	6月15日(日)
参 加 費	友の会会員 10,000円
	一 般 11,000円
定 員	40名(要予約)

〈林原美術館講座〉

日 時	平成21年1月24日(土)	13時30分～15時30分
演 題	「日本の食文化」	
講 師	熊倉功夫(林原美術館館長)	
会 場	岡山県立図書館(予定)	
参 加 費	友の会会員 1,000円	
定 員	100名(要予約)	
	一 般 1,200円	

当館では友の会会員を募集しています。各展覧会の入場料が、企画展は無料特別展は割引(会員並びに同伴者一名)となります。展覧会の案内状・「林原美術館ニュース」(年2回発行)・その他イベント情報などを随時ご案内いたします。更に、友の会会員の皆様には事前に一枚ずつスタンプカードをお配りし、平成20年度の全展覧会を鑑賞下さった方に感謝の意味を込めて、林原グループのオリジナルグッズをプレゼントさせて頂きます。ご入会の申込み及び詳細は、当美術館までお問い合わせください。

会員の種類・年会費

個人会員	1年 3,000円(新規) 3年 7,000円	2,700円(入会継続)
法人会員	1年 30,000円(新規) 3年 70,000円	
有効期限		
1年会員	平成20年4月1日～平成21年3月31日	
3年会員	平成20年4月1日～平成23年3月31日	

「美術館NEWS」を作成していると、本

編集後記

年度もがんばろう！という思いになります。展覧会やイベントで新しい試みに挑戦すべくスタッフ一同邁進して参ります。広く皆様方のお越しをお待ちしております。(宮尾)



「友の会」募集のご案内

〒700-0823
岡山市丸の内二丁目七番五十五号

財団法人 林原美術館

TEL ○八六一-二二三一-一七三三
FAX ○八六一-二二六一-三〇八九

参加費 一般 1,000円
会員 90名(要予約)
定員 1,200円